

## 次期教育ビジョンの基本的な考え方

教育委員会が最も大切にしている考え方

**教育は人が幸せに生きるためにあります**

教育を通して、学ぶ喜びや成長する喜び、  
人とつながる喜びを感じられる一人ひとりの生涯

教育委員会がめざす姿

## MIRAI SCHOOL いたばし

すべての教育施策を通じて、区民一人ひとりが学び教え合う中で「5つのチカラ（＝MIRAI）」をはぐくみ、「いたばし全体を学びのキャンパス（＝SCHOOL）」へと広げていきます

**M**otivation / 自分らしく進むチカラ

ありのままの自分を受け入れることで、仲間とともに成長し、  
未来に進む原動力を持つことができる。「心のあり方」を育てるチカラ。

**I**nclusion / 認め合って生きるチカラ

個性や立場が違っていても、人の話に耳を傾け、  
力を合わせて問題を解決できる。「共生」へのチカラ。

**R**elation / つながり助け合うチカラ

まわりの人を助けるために、社会に貢献するために、自分ごととして  
誰かのためにできることを探し行動することができる。「貢献」へのチカラ。

**A**ctivation / 自ら行動を起こすチカラ

やるべきことを、自ら考え、判断し、  
自分から挑戦することができる。「自立」へのチカラ。

**I**nnovation / ゼロから切り拓くチカラ

目に見えない課題に気づき、正解のない課題でも  
ゼロからイチを創り出すことができる。「創造」へのチカラ。

「MIRAI SCHOOL いたばし」を教育委員会・次期各計画の名称に統一的に使用

教育委員会が「めざす姿」を明確に発信し、教育委員会の「象徴」として実現を図っていく

# 「板橋区教育ビジョン2035」の名称変更について

教育委員会・次期計画体系（【 】は旧名称）

MIRAI SCHOOL いたばし —教育ビジョン2035—  
【板橋区教育ビジョン2035】

MIRAI SCHOOL いたばし —アクションプラン2028—  
【いたばし学び支援プラン2028】

MIRAI SCHOOL いたばし  
—学校施設づくり2035—  
【いたばし魅力ある学校づくりプラン2035】

MIRAI SCHOOL いたばし  
—子ども読書活動2030—  
【板橋区子ども読書活動推進計画2030】

MIRAI SCHOOL いたばし  
—多様な学び推進2028—  
【いたばし多様な学び推進プラン2028】

- ・「教育ビジョン2035」の、M・I・R・A・Iのビジョンを各計画と共有
- ・上記以外の策定済み計画は、計画改定時に名称変更を行う

# 各計画にこめた、M・I・R・A・Iのビジョン

MIRAI SCHOOL いたばし  
 —教育ビジョン2035—  
 —アクションプラン2028—

Motivation : 自分らしく進むチカラ → 「心のあり方」を育てるチカラ  
 Inclusion : 認め合って生きるチカラ → 「共生」へのチカラ  
 Relation : つながり助け合うチカラ → 「貢献」へのチカラ  
 Activation : 自ら行動を起こすチカラ → 「自立」へのチカラ  
 Innovation : ゼロから切り拓くチカラ → 「創造」へのチカラ

MIRAI SCHOOL いたばし  
 —学校施設づくり2035—

MIRAI SCHOOL いたばし  
 —子ども読書活動2030—

MIRAI SCHOOL いたばし  
 —多様な学び推進2028—

M

いつ、どこで、だれと、何を、どんなふう  
 に学ぶか、自分で選んで自分で決めて、自分  
 らしく意欲的に取り組むことができる学校施設  
 へ。

心を豊かにし、未来への歩みを応援してくれ  
 る本に出会えるよう、生涯の読書習慣が身に  
 つく読書環境へ。

個性や背景に関わらず、千差万別な一人ひと  
 りの子どもが、自分の強みを活かし、知りたい  
 ことを主体的に学べる機会がひろがる、多  
 様な学びの環境へ。

I

学年や障がいの有無、世代や言葉の違いに関  
 係なく、集い、ともに学びあうことができる、  
 一人ひとりが尊重された学校施設へ。

自分とは異なる立場や価値観、感情にふれ、  
 共感する力と寛容な心をもつことで、他者を  
 理解する力を育む読書環境へ。

個性や状況が違って、子ども一人ひとりが、  
 それぞれの多様性を認め合い、高め合い、対  
 話や協働的な学びのチャンスがひろがる、多  
 様な学びの環境へ。

R

いつでも、どこでも、だれとでも、つなぎ、  
 つながり、気軽に直接やりとりができ、結び  
 つきが深まる学校施設へ。

読書活動を通じて、図書館や学校など様々  
 な場で周囲とつながり、多様な世代と交流・協  
 働し、他者貢献する力を育む読書環境へ。

子どもをまんやかに、学校や地域が連携し、  
 子ども同士はもちろん、大人たちともつな  
 がり、ひろがる、多様な学びの環境へ。

A

各々が行動を起こすことで「チーム学校」と  
 してのパフォーマンスを最大化し、みんなの  
 「やりたい」を実現、学びを活性化できる学  
 校施設へ。

自分の気づきや疑問をきっかけに、自ら調べ、  
 学び、思考を活性化。自らの行動へとつな  
 げていく、自己探求の力を養う読書環境へ。

学ぶことへの興味や関心を出発点に、進みたい  
 将来を思い描きながら、自ら取り組み、次  
 へつながる可能性がひろがる、多様な学びの  
 環境へ。

I

新しい視点で、革新的な取組を行いたいと思  
 えるような、状況に応じて変化させやすい学  
 校施設へ。

情緒や想像力を豊かに育み、新たな世界や自  
 分の可能性に目を向け、未来を切り拓く、自  
 己成長の力を養う読書環境へ。

変化の激しい時代を生きる子どもたちが、未  
 来を見据え、自分らしい豊かな人生を切り拓  
 けるような、多様な学びの環境へ。